

# 「伝統」と「やさしさ」を伝えたい！ ～あわのわっか魅力大研究～



徳島県立つるぎ高等学校  
授業「電子商取引実践」選択者

## あなたが広告担当者ならどのようなプロモーション活動をする？

作成する際に参考にしたサイトは、<https://giahs-tokushima.jp/interview/takeoka>です。  
(参考：にし阿波の「傾斜地農耕システム」/活動情報/インタビュー/武岡洋子さん 世界農業遺産を支える人々)

### 【あわのわっかとは？】

- ・東みよし町の手づくり菓子工房みかもんの武岡洋子（たけおかようこ）さんが作っている。
- ・阿波に伝わる伝統菓子「亥の子（いのこ）菓子」がモデル。
- ・しっとりとした「亥の子菓子」が、料理家 樋口直哉（ひぐちなおや）さんの監修により現代風のサクツとしたクッキーにアレンジされている。
- ・材料のはったい粉は、世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」ブランド認証品が使用されている。  
はったい粉・・・ハダカムギを窯に入れて少し焦げ目がつくぐらい乾煎りし、粉にしたもの
- ・保存料・着色料は使わずに素材の味を大切にしている。



### 【亥の子（いのこ）菓子とは？】※上記サイトより抜粋

「亥の子菓子」のルーツは、旧暦の10月の亥の日にあった収穫祭。無病息災を祈るため家々を訪ねた子どもたちに、お礼として「亥の子菓子」がふるまわれました。丸い形は、ひもにお菓子を通して首に掛けるため。県西部の子供たちは、伝統行事のご褒美に、甘いお菓子をほおばりました。

### 【武岡さんの思いとは？】 生まれ育った土地の風習を伝えていきたい

武岡さんの思いに共感！  
武岡さんの思いを、私たちも多くの人に伝えたい！！

### 【プロモーション戦略】

11月の『トロッコ列車おもてなし月間』で特別に「あわのわっか」を販売させていただくことになった。  
武岡さんの思いや、「あわのわっか」の魅力を伝えるにはどうすればよいか戦略会議を開いた。

#### ①味を知ろう

- ・少しかためのクッキーで甘すぎなく食べやすい
- ・やさしい味
- ・懐かしさを感じる
- ・はったい粉の味を初めて知った
- ・サクサクしていて美味しい

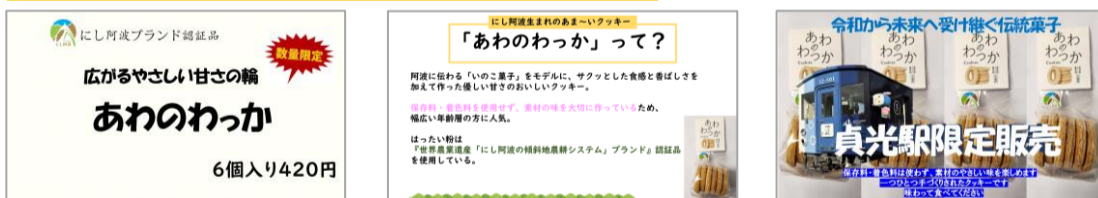
#### ②伝えたいことをまとめよう

- ・伝統
- ・「亥の子（いのこ）菓子」がモデル
- ・素材の味のやさしさ
- ・今回特別に販売させていただいていること

#### ③メインコピーを考えよう

- ・広がるやさしい甘さの輪
- ・やさしい甘さでみんな笑顔に
- ・にし阿波生まれのあま〜いクッキー
- ・令和から未来へ受け継ぐ伝統菓子

#### ④POP広告をつくろう



#### ⑤「藍よしのがわトロッコ」で販売しよう

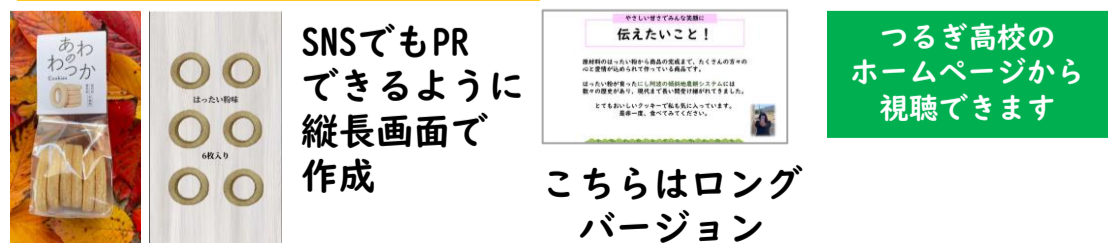
令和5年11月18日（土）

ICTビジネス研究部、卓球部等とともに貞光駅停車中のおもてなし活動として、世界農業遺産のPRとともに「あわのわっか」を販売した。

大雨ということで、車両備え付けのマイクで商品紹介をさせていただいた。初めての販売活動で不安だったが乗客の皆さんの笑顔が見られて、とても嬉しかった。



#### ⑥CMをつくろう



### 【まとめ】

直接武岡さんにお会いする機会がなく、武岡さんの思いが伝わるプロモーション活動になったかという点が反省点である。武岡さんとお話する機会があればもっとよい活動ができたのではないかなと思う。貞光駅停車中という限られた時間内で商品の魅力を説明するのは、とても難しかったが、「あわのわっか」を広めるために、みんなで協力して案を出し合えた。CMづくりなどみんなで協力して、よい経験になった。